2026 年 11 月 24 日
オリックス株式会社

滋賀県米原市で国内最大級 134MW の蓄電所を運転開始
～2027 年 4 月から長期脱炭素電源オークションを活用～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：髙橋 英丈）は、12 月 1 日より、滋賀県米原市で国内最大級※1 の蓄電所「米原湖東蓄電所」の商業運転を開始しますのでお知らせします。



「米原湖東蓄電所」は、米原市から市有地（約 25,000 ㎡）を賃借し、リチウムイオン蓄電池コンテナ 140 台を設置した、定格出力 134MW、定格容量 548MWh※2 の蓄電所です。オリックスが事業主体として事業全体の管理を行い、蓄電所の運営・維持管理業務（O&M）をオリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社が担います。

本件は長期脱炭素電源オークション制度※3 の対象で、2027 年 4 月から同制度を活用した運営を開始します。長期にわたり安定的な収益を確保しながら、蓄電池を活用した電力需給の調整を通じて、再生可能エネルギーの安定的な利用を支えます。

2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの主力電源化が進められるなか、太陽光発電や風力発電は天候や時間帯による発電量の変動が大きいため、電力需給調整の役割を果たす蓄電所の導入が進んでいます。オリックスは、2022 年に蓄電所事業へ参入し、「紀の川蓄電所」※4 の運営や、「由布蓄電所」・「米沢蓄電所」※5 の開発を進めています。今後も、自治体や企業と連携した遊休地の活用などを通じて、全国で蓄電所事業を拡大します。

オリックスは今後も、蓄電所事業を推進し、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの有効活用を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 当社調べ

※2 定格出力は定められた条件下で出せる電力、定格容量は放電可能な電力量。本件の定格容量は、1 日 1 サイクルの充放電をした場合、一般家庭約 5.1 万世帯の 1 日の電力使用量に相当。1 世帯当たり約 10.7kWh/日で算出。

（出典：環境省「世帯当たり年間エネルギー種別消費量（固有単位）および支払金額（令和 5 年度）」）

※3 脱炭素電源への新規投資を促す入札制度。原則 20 年間にわたり電力広域的運営推進機関（OCCTO）より固定費相当の収入を得られる仕組みで、蓄電所開発の課題である長期的な事業収益の予見可能性を高める制度。

（出典：電力広域的運営推進機関：長期脱炭素電源オークションとは）

※4 2024 年 11 月 29 日付リリース：当社初の蓄電所事業「紀の川蓄電所」、和歌山県で運転開始

※5 2026 年 9 月 30 日付リリース：外部投資家との共同出資で系統用蓄電所を初事業化

以　上

■蓄電所の概要

名　　称	米原湖東蓄電所
所 在 地	滋賀県米原市
定格出力	134MW
定格容量	548MWh
敷地面積	約 25,000 ㎡
商業運転開始日	2026 年 12 月 1 日
蓄電所の運営・維持管理業務（O&M）	オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社

■「米原湖東蓄電所」位置図



＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
オリックス株式会社　グループ広報・渉外部　TEL：03-3435-3167